

# フラワーガーデン



園芸総合センター  
瀬尾 龍右

## 園芸総合センターの植物紹介 ～ダツラとクルクマ～



▲ダツラ 花の形はトランペットのようだ

### 一 ダツラ

ダツラは和名でチョウセンアサガオと呼ばれ、中近東や中南米、インドなどの熱帯、亜熱帯地方を中心に分布するナス科の草本性、あるいは木本性の植物です。

ダツラ属には約五〇種がありますが、それらは花が小型で上を向いて咲く一年草と花が大型で垂れ下がって咲く多年草に大別されます。前者は主に薬用植物として導

入され、喘息の鎮痛薬として用いられており、後者は園芸植物として利用されています。

ダツラ属は花形がまるでトランペットを模したような形をしていることから、エンゼルストランペットとも呼ばれてよく親しまれています。花色は白色や淡桃色、淡紫色、さらには淡黄色から白色に変化するものなど様々な種類があり、なかには強い芳香のあるものや八重咲きのものもあります。

### ①栽培のポイント

栽培は比較的容易で肥沃な腐植質に富んだ土を好みます。植え付けは三月下旬〜五月頃に行い、日当たりが良く雨の当たらない場所で管理します。

冬期は一部の暖地を除いて戸外での越冬は難しいので、寒くなってきたら室内に取り込むと良いでしょう。この時、樹形が乱れているようなら少し強めに刈り込むのも一つの方法です。春に暖かくなれば戸外に出して十分に日光に当てるようにしましょう。真夏の晴

天時には水を多く必要としますが、水を切らさないようにたっぷりと与えましょう。

株を増やしたい時は実生とさし木の二通りの方法がありますが、発根しやすいので挿し木で増やす方が簡単です。春から秋にかけてハダニやコナジラミがよく発生するので予防を常に心がけましょう。

### 二 クルクマ

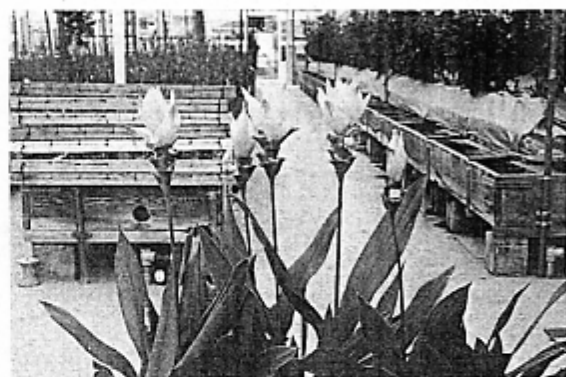
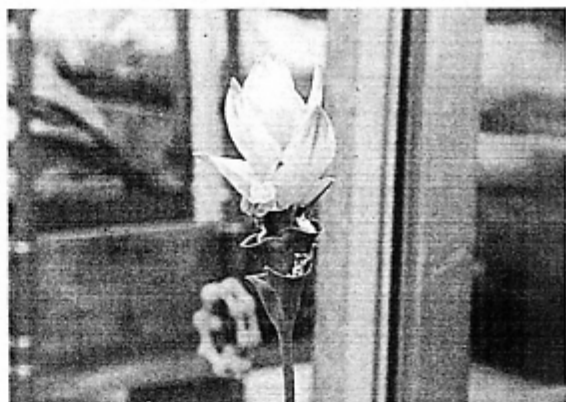
クルクマは熱帯アジアを中心に分布するシヨウガ科の球根植物です。以前は主に薬用や染料として用いられていましたが、花がハスによく似たアリススマティフォーリア（通称シャローム）種が導入されてからは夏の花として注目されるようになりました。

このクルクマの花は一カ月以上觀賞できるのが特徴ですが、実はこの花のように見える部分は苞と呼ばれる部分で、本当の花は苞の間で小さく見え隠れしています。栽培も比較的容易で最近ではホームセンター等でも鉢植えにし

てよく販売されています。花は桃色  
が中心ですが他にも白色や濃桃  
色の種類もあります。

### ①栽培のポイント

栽培は比較的容易で、日射しが  
強く、気温の高い場所ほど良く生  
長します。植え付けは三月下旬～  
五月頃に行いますが、あらかじめ  
球根を三〇℃程度の温度で四～五  
週間ほど催芽しておくとなりが  
早くと、開花のそりも良くな  
ります。七～九月にかけて気温の  
高い時期は水をたくさん欲しが



▲クルクマ 花に見える部分は苞

ますのでたっぷり与えるようにし  
ましょう。十一月頃になると寒さ  
の嫌いなクルクマは葉が黄化し始  
めるので、葉が完全に枯れたら掘  
り上げて室内で保存します。この  
時、室温が十三℃以下になると球  
根が腐ってしまうので注意しまし  
よう。

増殖は主に分球で増やしますが、  
この時、根茎の下から伸びている  
栄養球が脱落すると生育が悪くな  
るので栄養球ごと丁寧に取り外し  
ましょう。